

かがやく

ハーモニーひたちなか

市では11月を
男女共同参画強調月間と定め、
様々な事業を行いました。

各種メディアで大人気の歌手
木山裕策氏によるミニコンサート



ハーモニーひたちなかフォーラム

消費生活+ハーモニー展



防災に関するアンケートを
実施しました！
(詳しいアンケートの結果は3Pへ)



デートDVに関するリボンアンケート

デートDVとは、交際相手のどちらか一方が相手を支配するために使う暴力のことで、男性から女性へ、女性から男性へ行われるだけでなく、同性同士のカップルにも起こることです。



▲詳しくはこちら

令和7年度 ハーモニーひたちなかフォーラム

IN ワークプラザ勝田多目的ホール

11月30日(日曜日)

「主夫の経験が教えてくれた大切なこと ～木山流ワークライフバランスのススメ～」

講師：歌手 木山 裕策

歌手である木山裕策氏をお招きし、主夫の実体験や家族の中での関わりを踏まえ、夫婦で協力してワークライフバランスを整えることの大切さについてお話いただきました。主夫を経験したことで家事の大変さを理解し、夫婦間において役割分担を考え直すきっかけとなったそうです。その後ミニコンサートで歌もご披露いただきました。参加者からは、「子育て中だが、今後のためになるお話をたくさん聞くことができとても貴重な時間となった」「ワークライフバランスを考え、両親が協力することの大切さを学べた」などの感想が寄せられました。この講演会が、子育てをしていく上で「子どもが自分で考えて行動すること」の大切さを学び、また、今後の生活におけるワークライフバランスについて、改めて各々が考え直すきっかけとなった様子がうかがえました。



男女共同参画表彰式

キャッチフレーズ表彰

応募作品の中から下記3作品が選ばれ、ひたちなか市長から表彰されました。

最優秀賞 「じゆうにえらぶ じぶんのみち」

(柴山 ももかさん)

優秀賞 「あなたらしく私らしく 共に奏でる社会のハーモニー」

(大塚 紗愛さん)

佳作 「男女がともに 手を取り合って 作る社会」

(佐川 友紀さん)



事業所表彰

今年度は下記の2社が選ばれ、ひたちなか市長から表彰されました。

● アイムス㈱ [情報通信業・ソフトウェア業]

女性の能力発揮やキャリア形成を促進するための「事業主行動計画」を策定しています。また、フレックスタイムなど柔軟な働き方が整備されているなど家庭生活を充実させる環境を整えており、今後の取組としては、「子育てサポート企業」の証である「くるみん認定」を目指しています。



● (有)鹿志村紙器 [段ボール製造加工業]

勤務時間の調整や短時間勤務など子育てをしている女性も含めて、従業員が働きやすい環境の整備に力を入れています。また、経験を生かした再雇用制度により定年後も働き続けることのできる環境も整備されており、多様な働き方を実現しています。



会社の様子及び製造した段ボール



過去の
男女共同参画
推進事業所は
こちらから

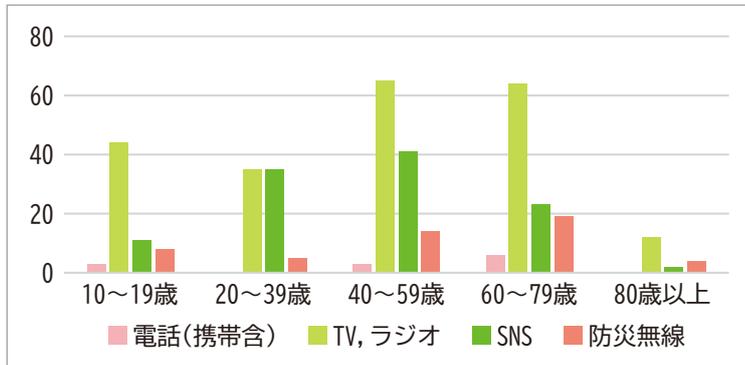


あなたの命を守る本気の避難!

ハーモニーひたちなか アンケート調査を実施

情報を得る手段と災害用伝言ダイヤル171の使い方の認知度を把握するため、令和7年度消費生活+ハーモニー展にてシールアンケートと災害時伝言ダイヤル利用体験を行いました。

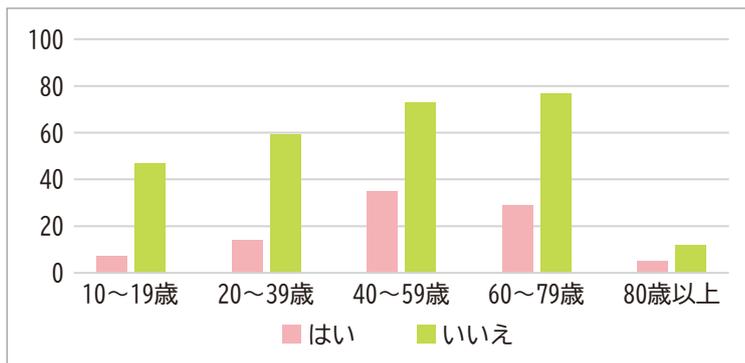
Q1 あなたはどこから情報を得ますか?



防災無線の回答が少なく、災害時における防災無線の有用性を広める訓練や広報が課題とわかった。



Q2 伝言ダイヤルを使えますか?



使えない方が多かったが、使い方を説明することで、知って良かったという感想がたくさんあった。災害に対する意識が根付いてきていることが伝わってきた。

来場者からのコメント

情報について

誰でも（障害のある方、子ども、高齢者、外国の方も含む）情報がわかりやすく得られる方法で知らせて欲しい。

防災無線が聞き取れなかった時の確認の方法を知りたい。



伝言ダイヤル

伝言ダイヤルを知ることができ勉強になった。(9人)

伝言ダイヤルの説明会を実施して欲しい。(5人)

これを機会に家族と一緒に試してみたい。

小・中・高生に周知できるよう、校内にポスターを掲示して欲しい。

伝言ダイヤルが誰でも使えるように、公衆電話を無くさないで欲しい。公衆電話が減っているのが心配。



詳しくはこちら
(総務省)HP

その他

- 学校でやった。
- 会社で使っている。
- 災害発生の時使った。
- 東日本大震災後、災害用伝言ダイヤルの周知があり、定期的に会社全体で練習している。

茨城県女性管理職育成研修～管理職候補女性キャリア研修～

講師：株キャリアアンドブリッジ 取締役 遠藤 和氏

10月27日（月）および12月16日（火）の2日間にわたり、茨城県とひたちなか市の共催により遠藤講師のご指導のもと、管理職候補の女性向け研修を実施しました。参加者はワークショップを通して、自分の強みや得意なことに気づくとともに、キャリアを積んでいく上で自分に合ったリーダーシップスタイルを考えている様子でした。

参加者からは「管理職になるにあたり、実感が湧いた」との声が寄せられ、研修の中で管理職について改めて自分事として考えることができた機会となり、有意義な研修となりました。



ハーモニーひたちなか研修会～健康いきいき体操～



12月16日（火）、ワークプラザ勝田軽運動室にて当団体の構成団体である「いきいきヘルス体操クラブ」の指導者を講師としてお迎えし、健康いきいき体操を開催しました。一般の参加者も広く募集したところ、多くの方にお集まりいただき、会場は和やかな雰囲気に包まれました。

参加者の皆さんは思うように体が動かず苦戦する場面もありましたが、講師の優しい声かけや丁寧な指導により、徐々に動きがほぐれ、楽しみながらのびのびと体を動かすことができました。また、講師から表情筋のトレーニングや発声のポイントについてもわかりやすく教えていただきました。

体操が終わった後には、「少し疲れたけれど心地よい疲れです」「とても有意義で楽しい時間だった」との感想が寄せられました。

ハーモニーひたちなかについて

ひとりひとりが自分らしく輝くことのできる男女共同参画社会の実現のため、市内の団体と市が協力し合って、研修・情報交換・イベントなどを企画実施している組織です。

興味がある方はハーモニーひたちなか事務局（下記問い合わせ）までご連絡ください。



詳しくはこちら▶



女性ネットワークなかとの交流会



外部講師を招いた研修会

思います。
歩を考えて
いきたいと思います。



皆で互いに助け合い、今できる一歩を考えていきたいと思います。

阪神・淡路大震災を経験した友人がいます。当時は、夫が全面的に支えてくれたおかげで大変助かったと話してくれました。しかし今はその夫が要介護となり、これから起こるかもしれない南海トラフ地震にどう備えたらよいか、不安を抱えています。

けれども、あの頃と比べれば、避難所の環境や支援体制は確実に進歩しています。多様な人が安心して過ごせるよう、行政や地域において検討を重ね、「誰ひとり取り残さない」避難所へと現実には少しずつ近づいていると思います。私たち自身も、日常の小さな備えや地域とのつながりを大切に、

編集者のつづやま

「かがやく」のバックナンバーはこちら



環境にやさしい植物油インキ、再生紙を使用しています。

問合せ先

ひたちなか市男女共同参画センター（ひたちなか市市民生活部女性生活課内）

住所：ひたちなか市東石川2丁目10番1号 TEL：029-273-0111（内線23234） FAX：029-271-0851